

個人情報取り扱いマニュアル

I 個人情報の認識

1. 個人情報は、かけがえのないものである。
2. 利用する目的は特定しておくこと。
3. 目的の範囲外で情報を取り扱わない。

II 個人情報の収集時の注意点

1. 本人から直接情報を得る場合は、目的及び使用方法を本人へ説明しておく必要がある。
2. その上で本人の了承を得ること。→ 可能ならば文章で了解を取っておく。
3. 本人以外から情報を得ようとする場合は、情報が他に提供されることについて、本人の了解が得られているかどうか重要である。
4. 本人が認知症などで理解力・意思表示力が低下している場合は、法定後見人・家族などに了解を得ること。

III 情報の管理について

1. 得た情報は他に漏れることがないよう、厳重・安全に管理しておくこと。
2. 第三者の目や耳に触れないように気をつけること。
→ トイレ・廊下・階段での会話、外部での会話からの漏れに注意すること。
3. 会議資料として使用する場合は、必要最小限の情報提供とし安易にコピー等を用いない。
4. 原則とし引夫情報を外部に持ち出さない。
やむを得ず個人情報を持って外出する時は、細心の注意を払うこと。

IV 第三者への提供について

1. 第三者へ情報を提供する場合は、予めその目的と範囲について、了解を得ておくこと。
2. 第三者への情報提供について了解を得ている場合は、その都度本人の同意を得なくても提供することは可能 → 了解後提供しない申し出があった場合は、提供を中止すること。
3. 本人の心身を守る為にやむを得ない緊急時は、この限りではない。

V 情報の開示・訂正・廃棄について

1. 本人の請求時は、情報を開示する必要がある。
2. 保有している情報の誤りが判明した際は、すみやかに訂正すること。
3. 本人から要望がある場合は、保有情報を情報が漏れないように破棄すること。

VI スタッフの責任

- * 個人情報の取り扱いで最も重要なのは、相手方との信頼関係であり、この為には各スタッフが個人情報の重要性を認識し、情報の収集・管理・利用・廃棄の全工程において、信頼関係を損なわないように、厳重に注意を払うことが重要である。

平成 17 年 4 月 1 日

社会福祉法人 翠祥会
理事長 新妻 尚二郎